

小室みえこが訴えてきたこと

野田市国民健康保険料（税）新旧対照表

	医療分				支援分		介護分		一人あたりの保険料
	応能		応益		応能	応益	応能	応益	
	所得割	資産割	均等割	平等割	所得割	均等割	所得割	均等割	
現行	7.16%	5.00%	26,200円	25,000円	1.84%	10,000円	1.50%	12,200円	103,555円
改正後	5.50%	—	14,000円	34,000円	2.75%	11,800円	2.24%	13,300円	91,082円



これまで、一般質問において、国民健康保険の質問を多岐にわたりに調査したデータを使い質問を繰り返してきました。

特に、均等割は、県内54市のなかで高い方から10位でした。多人数世帯、特に子育て支援の観点からも均等割の金額を下げるべきと訴えました。

野田市は今議会において、国民健康保険料の軽減を行いました。

また、保険税から保険料への変更も行いました。「税方式」を「料方式」に変えたことは本来の社会保障としてのあり方に沿うこととなります。

実現してきたこと ①

国民健康保険の保険料値下げ

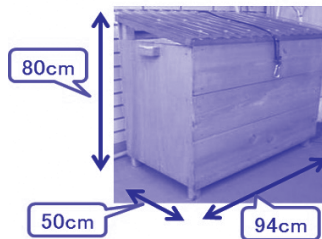
実現してきたこと ②

生ごみたい肥 容器の助成拡大

わが家の生ごみ「キエーロ」を使って、こんなに減りました！

平成22年度 (基準とする年度)	639g
平成33年度 (目標年度:30%削減)	447g
小室宅 (平成28年実績)	58g

新清掃工場建設候補地選定審議会の委員として候補地の近隣住民の皆さんにだけ負担を押し付けないための策として、生ごみのたい肥化を提案しました。生ごみの減量は助燃剤の削減にもなります。守谷市他3市を視察・調査しました。それらを参考に各家庭で取り組める生ごみたい肥器「キエーロ」を助成対象とするよう働きかけ実現しました。



実現してきたこと ③

たい肥センターのたい肥を市民が利用できるようにした



「家庭菜園やガーデニングに活用できて、助かっています」との声

その他には

- * 原発事故の放射能対策
- * 住民税の特別徴収の通知にマイナンバーの不記載を求め、実現
- ↓2018年度からは国は自治体に対して不記載を通知してきました(個人情報管理の徹底が問題となったため)
- * 野党共闘のための市民活動の発起人となり活動
- * 資源ごみ回収容器の出し入れの負担を少なくするよう提案し新年度より検証を始めることなど

市民の皆さんからの相談や今起きている問題に取り組んでいます。